

所管課		市民生活部市民窓口課														
施策の大綱	まちづくりの目標(章)			施策分野(節)			施 策									
	第4章 安全安心都市			06 消費生活			01 消費者の意識や知識を高める									
事業：消費者啓発事業													整理番号	0384		
目的	市民が安全・安心な消費生活をおくるために、消費生活に関する意識や知識の高揚を目指して啓発を行う。															
目標	子どもから高齢者まで幅広い年齢層、また、種々多様な生活スタイルの市民に消費者としての意識や知識を高めるための啓発情報を提供する。															
事業費・財源	事業費（決算額）(千円)		5,133		コスト情報・評価	総コスト（千円）		6,323		総合評価 B 評価理由 若年層の参加が少なかった。	妥当性		A			
	財源内訳	一般財源		907		内訳	事業費		5,133		効率性		A			
		国府支出金		4,226			人件費		1,190		有効性		B			
		地方債		0			公債費		0							
		その他特定財源		0			一人あたり(円)		56							
							世帯あたり(円)		134							
貢献度	施策に対する事業貢献度		A		根拠	啓発物品の全戸配布などにより啓発効果が大きかった。また、啓発事業についても参加人数が大幅に目標値を上回った。										
今後の方向性	子どもから高齢者まで幅広い年齢層、また、種々多様な生活スタイルの市民に対して啓発を続けていく。															

事業 優先順位		1	細事業:消費者啓発事業				整理 番号		01	
目的		消費者が自らの利益の擁護及び増進のため自主的かつ合理的に行動し、自らが消費者被害に遭わないよう未然に防止し、安全・安心な消費生活をおくることができるよう啓発すること。								
目標		子どもから高齢者まで幅広い年齢層、また、種々多様な生活スタイルの市民に消費者としての意識や知識を高めるための啓発情報を提供する。啓発事業への参加者数を1,600人に増やす。								
事業 実施主体		一部委託	事業開始 年 度	昭和47年度以前	根拠 法令	消費者基本法				
事業費・財源	事業費・財源 内訳	事業費(決算額)(千円)		平成24年度	比 較	コスト 情報・従事 職員数 参考	総コスト(千円)		平成24年度	比 較
		一般財源		5,133			事業費		6,323	
		国庫支出金		907			人件費		5,133	
		地方債		4,226			公債費		1,190	
		その他特定財源		0			一人あたり(円)		0	
				0			世帯あたり(円)		56	
				0			職員数(人)		134	
				0			再任用職員数(人)		0.15	
				0					0.00	
今後の方向性		子どもから高齢者まで幅広い年齢層、また、種々多様な生活スタイルの市民に対して啓発を続けていく。								
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	河内長野市民					
	A	A	B							

事業：消費者啓発事業

消費者が自らの利益の擁護及び増進のため、自主的かつ合理的に行動することができるよう消費者の自立を支援する事業の実施に努めた。

細事業：消費者啓発事業

消費者が自らの被害を未然に防止することができ、また、安全・安心な消費生活に関する知識を身につけてもらえるよう次の事業を行った。

1. 消費者啓発事業委託

地域に根ざした消費者活動を支援することにより、賢い消費者を育て消費者行政の最重要課題である消費者啓発を推進するため、多面的に消費者問題に取り組んでいる「かわちながの消費者協会」に次の事業を委託した。

委託料 400,000円

(1) 消費生活にかかる市民講座、セミナー

開催日	テーマ	開催場所	参加者
H24. 5. 15	あなたは確認していますか～生命保険のコーマーシャルの問題点	ノバティホール	35人
H24. 10. 18	生きる力と食の大切さ～今こそ日本の伝統食を見直しましょう～	ノバティホール	39人
H24. 9. 11 ～12. 4	くらしのセミナー 全4回	ノバティホール他	延127人

(2) 出前講座

市民に消費生活の知識を深めてもらうため、消費生活に関する希望のテーマの講座を自治会集会所で開催した。 開催回数等：11回（11箇所） 参加人数：延べ349人

(3) 小学生消費者教室

小さい時から消費生活について関心を持ってもらうため、小学4～6年生を対象とした教室を開催。

平成24年7月24日（火）「食品に含まれる糖分や塩分を調べよう」 キックス 参加者14人

(4) 消費生活啓発機関誌ニュース「くらしUPながの」の発行 公共施設等に配布 発行回数：3回

(5) その他・消費生活における諸問題の調査及び研究 ・各地域相互の情報交換等

2. 生活情報展開催業務委託

地域の実情に即した消費生活に関する総合的な情報、知識の普及を図ることと、自ら学ぶ意欲を持ち、急激な社会の変化に主体的に対応できる消費者を育成し、支援する機会として、河内長野市生活情報展実行委員会に委託し、第23回生活情報展を開催した。 委託料 400,000円

開催期間：平成25年3月1日（金）～2日（土） 来場者数：1,060人

3. その他の啓発事業

(1) 消費生活に関する情報を広報紙及びホームページに掲載し、情報発信した。

(2) 大阪府の「消費者行政活性化基金」を活用し作製した消費者啓発シールとマグネットシートを全戸配布し消費者被害に対する啓発を行った。

(3) 若者向け消費生活講演会を開催した。

平成24年7月27日（金）「キミは大丈夫？ ネット社会の甘いワナ」

ノバティホール 参加者18人